

ヤッシー

大島 行雲

或る国にヤス湖という湖がありました。小さい湖ですが、水はガラスのように透き通っていて、かわいい魚や鳥が集まってくる、とてもとても綺麗な湖でした。

国は、これまでたくさんのお城を建てたり、ぜいたくなお祭をしたりしたせいで、みんな借金に苦しんでいました。国の偉い人たちは、うんと仕事を増やして、みんなの借金を減らすため、ヤス湖を埋め立てて、その上に立派な街を作ろうと言っていました。

でも、民衆は、ヤス湖が大好きで自分たちの誇りにしていたので、借金は大変ですが、ヤス湖を埋め立ててしまふのには反対の人がたくさんいました。

或る日、国の偉い人たちがヤス湖のまわりに集まって、ヤス湖を埋め立てるのを決めようとしていると、ヤス湖の水面に変な波が立ち始めました。すると、どこからともなく気味の悪い裏返ったような鳴き声が出て、湖から大きな大きな白い怪物が現われました。ヤス湖の主と言われていた伝説の怪物、ヤッシーです。ヤッシーなんて、ただの作り話で嘘に決まっていると思っていた、国の偉い人たちはびっくりして、大変な大騒ぎになりました。

国の偉い人たちがヤス湖を埋め立てようとして、ヤッシーが怒って出てきたのだから、埋め立てはやめるべきだと、たくさん民衆は言いました。

ヤッシーみたいな怖い怪物がいる湖は危ないから、埋め立てをしようべきだと、国の偉い人たちは言いました。

さてさて、この後、どうなったかは、またのお楽しみ。